

高尾山・独りハイキング

小林信生 (2019/3/1)

○3月1日(金)朝まで雨が残っていたが、午後から晴れるとの予報。一日中、珍しく予定がなくぼっかりと空いたので、急に思い立って、高尾山(標高600m)にハイキングに行く気になる。高尾山は、我が家から1時間くらいで登り口に立てる距離なのになかなか足が進まなかったが、年間260万人もの人が登る世界一登山者の多い山と言われているということを知り、機会があれば、登りたいと思っていた矢先、好機が訪れた。

○高尾山は、2012年秋、木下君がリーダーで、彼の3M時代の友人達と松高8期生の混合チームで登ったのが最後だから7年ぶりである(報告されているので、当HPご参照)。

この間に、山の様子もだいぶ変わったであろうと期待して、10:30に自宅を出る。

○雨上がりのためもあってか高尾山口まで行く電車はガラガラである。登山口に着いたのが、自宅出発から丁度1時間後11:30。山頂までの登山道は全部で7ルートあるが、久しぶりなので、最も常道の一号路に行く。登山道はすいていて、人影なし。



ガラガラの京王電車(高尾山口駅)



新築なった高尾山口駅舎



人影がないケーブルカー駅

○山道に入って、自分の脚力の衰えに愕然とする。以前は、すいすいと登れた道だが、一向に歩が進まない。息は切れ、足はこわばり、体力の衰えを思い知らされる。看板には、徒歩40分でリフト頂上駅と書かれていたが、休み休みで60分もかかった。そんな、つらい歩行を春鶯の鳴き声が心地よく響き、癒される。

12:30リフト頂上駅に到着して、駅のベンチで昼食をとり、小休止。



登山口の参拝神社



ここも人影なし



つづら折りの道が続く

○リフトとケーブルカーの頂上駅は、ほぼ並んで立っており、休日は大混雑であるが、今日は閑古鳥が鳴いている。頂上駅を過ぎて、浄心門を通るとそこから高尾薬王院の参道となる。しばらく平坦な道がつづくが、薬王院山門へは長い階段を登る。この階段は年寄りにはしんどい。さすがに大本堂は立派だ。



薬王院に向かう108段階段



薬王院の山門



薬王院大本堂

○続いて、薬王院（権現堂）を経て、薬王院（奥之院）へ向かうが、この道も階段が続く。



権現堂に向かう階段



薬王院（権現堂）



薬王院（奥之院）

○奥之院の横の階段を登って高尾山頂に向かう道を暫く行くと、山頂の手前に、近代的なトイレがみえる。この日は、登山者が少なかったので、一階だけを使用してたが、2階建ての長屋の様なトイレで、入り口と出口が別になって、一方通行になっているのが面白い。



奥之院から山頂に向かう階段



階段を登ると木のテラス



モダンなトイレ

○高尾山頂へ到着は14:30。そこには、標高599.15mの頂上碑が立っている。昔は、この頂上は、机やベンチがあって雑然としていたが、今はすっきりと整地され、大きな広場となっている。恐らく、休日には、ハイカーで超満員になるところであろう。西端の展望台からは、晴れておれば、富士山が展望できるが、この日は曇っていて見ることはできなかった。ざんねん！



やっと頂上に着いた！



頂上の広場も人が少ない



十三州大見晴らし台

○頂上に30分ほどいて、もと来た道を下る。下りは、やはり楽だ。40分ほどで、リフト頂上駅に着く。だんだん足が疲れてきて、下りもつらいのでリフトに乗って、登山口に着く（16:00着）。一終一



高尾山の守り天狗（薬王院）



眼下に多摩地区の街並み



帰りはリフトでラクチン

(左上ブラウザに戻る)